

<受入研修>

省エネ支援事業の一環で受入研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、AJEEP（ASEAN JAPAN Energy Efficiency Partnership）スキーム2の活動として、ASEAN9カ国から18名のトレーナー候補者を日本に受入れ、2020年1月15日～23日の7日間の研修を通して以下の取組みを実施しました。

- (1) 自国での省エネ診断結果のプレゼンを実施し、診断結果をまとめたレポートと合わせて評価。
- (2) エネルギー管理制度・省エネ熱技術・省エネ電気技術・空調技術・省エネ発掘手法の講義。
- (3) 理解度確認試験を実施し、タイ&ベトナムのトレーニングセンターでの試験結果を合わせて総合的に評価し、ASEAN トレーナーとして認定。



ECCJ 開会挨拶



講義風景



試験風景



集合写真

スキーム2の一環として、ASEANにおけるエネルギー管理士の育成強化ならびに管理士認定制度の構築・改善に資する人材育成事業の推進を目的として、ASEAN 9カ国から18名のトレーナー候補者を招聘し、以下の研修を実施しました。

- (1) ASEAN各国の自国省エネ診断結果のプレゼンを実施し、診断レポートと合わせて評価しました。
- (2) エネルギー管理制度・省エネ熱技術・省エネ電気技術・ASEAN空調技術・省エネ発掘手法の講義を実施し、理解度試験を実施しました。
- (3) 今回の試験結果、診断レポート、タイ&ベトナムTOTの試験結果を総合してトレーナー認定の総合評価をいたしました。本結果を元にPOSTミーティングで認定表彰を実施します。

*AJEEP：ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム